

令和8年度 鎌倉学シリーズ1

日本バレエの母 エリアナ・パヴロバと鎌倉



七里ヶ浜の海浜で踊るエリアナ(中央) 昭和3年ころ 画像提供・鎌倉市

2026年8月9日(日) 14:00開演 (開場13:30)

会場：鎌倉芸術館 集会室

講師 川島京子(跡見学園女子大学文学部教授)

早稲田大学、東京藝術大学、洗足学園音楽大学講師。
舞台芸術史、舞踊学、主に日本における西洋舞踊の受容を専門とする。著書に『日本バレエの母 エリアナ・パヴロバ』(早稲田大学出版部) 共著に『ジゼルー初演から現代まで』(せりか書房) など。新国立劇場舞踊専門委員、服部智恵子賞選考委員、橋秋子賞選考委員、東京新聞主催全国舞踊コンクールバレエ部門審査員、埼玉全国舞踊コンクールバレエ部門審査員など。



チケット

1,000円 (税込) 全席自由 ※未就学児は入場できません

チケット発売中

- ◆鎌倉芸術館2階受付 (9:00~19:00※発売初日は10:00~/休館日は除く)
- ◆CNプレイガイド
- ・ネット予約 <https://www.cnplayguide.com/elena-pavlova/>
- ・電話予約 0570-08-9999 (10:00~18:00)

※内容は変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

アクセス

鎌倉市大船6-1-2
大船駅から徒歩10分



【主催】鎌倉市芸術館指定管理者
鎌倉市芸術文化振興財団・国際ビルサービス共同事業体
助成：神奈川県マガル展開発促進補助金

【お問合せ】
鎌倉芸術館 0467-48-5500
9:00-19:00 | 休館日を除く



鎌倉芸術館 鎌倉学シリーズ1

日本バレエの母 エリアナ・パヴロバと鎌倉

鎌倉の七里ガ浜に日本初のバレエスクールを設立し、日本のバレエ界の先駆者たちを育てたエリアナ・パヴロバ。その生涯と鎌倉での活動についてお話しします。



エレーナ・ニコラエヴナ・トゥマンスカヤ・パヴロワ
(Елена Николаевна Туманская-Павлова)

1897年、チフリス(現・トビリシ)生まれ。バレリーナ。通称エリアナ・パヴロバ
1919年、ロシア革命から逃れ母と妹のナデジダと日本に亡命する。1925年、七里ガ浜に日本で初めてのバレエ学校「パヴロバ・バレエスクール」を開き、生徒たちと各地で公演をおこない、日本のバレエ普及に尽力する。1937年、日本に帰化し霧島エリ子と名乗る。1941年、日本軍の慰問で中国に渡るが、病に倒れ44歳で亡くなった。戦後「パヴロバ・バレエスクール」で学んだ生徒たちは、日本のバレエ界をけん引し、エリアナはいつしか「日本バレエの母」と呼ばれるようになった。



「瀕死の白鳥」を踊るエリアナ
1919年7月に亡命したエリアナはバレエ学校を開くまで、横浜を拠点に各地で公演をおこなった。亡くなるまでに上演した作品は300以上にのぼる。



パヴロバ・バレエスクール
開校から7年後、七里ガ浜に建てたバレエスクール兼住居。エリアナの死後は妹のナデジダが引き継いだ。現在、跡地に記念碑が建つ。



七里ヶ浜の海浜で踊る生徒たち
バレエスクールには、全国から生徒が集まり服部智恵子、橋秋子、東勇作、貝谷八百子、島田廣ら多くの生徒が学んだ。

画像提供：鎌倉市

関連イベント

鎌倉芸術館 こどもてんらん会

ささめやゆきの世界

8/1(土)~8/16(日) 9:00~17:00 ※8/5(水)は休館

会場 鎌倉芸術館ギャラリー2

おとな(高校生以上)500円/こども(中学生以下無料) ※当日会場でお支払いください。

絵本作家・版画家・イラストレーターとして幅広い活動を続けるささめやゆき。「すなはまのバレリーナ エリアナ・パヴロバのおくりもの」をはじめとする、ささめやゆきの作品世界を紹介します。

「すなはまのバレリーナ エリアナ・パヴロバのおくりもの」
川島京子・文 ささめやゆき・絵 牧阿佐美・制作協力 2022年 のら書店

【アクセス】鎌倉芸術館へはJR大船駅東口・笠間口から徒歩10分、
大船駅へはJR東海道線で品川駅から約35分、東京駅から約45分

鎌倉芸術館 TEL0467-48-5500/FAX0467-48-5600

〒247-0056 鎌倉市大船6-1-2 <https://kamakura-kpac.jp/>

